

平成 19 年度上半期
ディスクロージャー誌

J A 福光の現況

(平成19年度上半期 ディスクロージャー誌)

福 光 農 業 協 同 組 合

目 次

ご挨拶	1
. 地域貢献に関する取り組み	2
1. 全般に関する事項	2
2. 地域からの資金調達の状況	2
3. 地域への資金供給の状況	4
4. 文化的・社会的貢献に関する事項(地域とのつながり)	7
. 財務状況や事業に関する開示	9
1. 金融再生法債権区分額(単体)	9
2. 単体自己資本比率(国内基準適用)	9
3. 預貸等状況(貯金、貸出金、預け金、有価証券の残高)	9
4. 有価証券等時価情報	10

ご挨拶

日頃より、福光農業協同組合（JA福光）をお引き立て下さいまして厚くお礼申し上げます。

このたび、皆様方に当組合をより身近にご理解いただくために、平成19年度上期(8月末)の事業実績等を取りまとめましたディスクロージャー誌「JA福光の現況」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸甚に存じます。

さて、私たちを取り巻く環境は、国の内外を問わず非常に厳しい状況におかれています。国際的には、WTO農業交渉や日豪EPAは未解決のままで、なかなか解決の糸口すら見つかりません。国内の情勢も、米消費の減退や他県の生産調整未実施により、米価の下落に歯止めがかからなくなっています。その一方で、日本の食糧需給率は40%を割り込み、先進国では最低となっています。

当農協の経営面では、「富山県JAにおける支所・支店再構築指針」に基づき、経済事業改革の一環として今年3月より生産と生活の配送業務を一体化して営農部内に配送センターを設置し、業務効率化を図りました。

また5月1日より、福光中央会館1階(旧吉江支所跡)を改修して、これまで11の支所(店)で行ってこられた金融・共済業務を集約して金融共済部となり、金融部門を金融本店、共済部門を共済本店として、地域の一番店としてご利用いただけるよう努力しております。

一方、これまでの支所(店)を地区センターと改め、営農指導や各種関連組織の事務局の業務を中心として、金融や共済の取次ぎ業務を行っています。

さらに、高齢者の生活支援として以前より取り組んでまいりました訪問介護事業と併せて「通所介護事業」(デイサ - ビス)の「日向ぼっこ」も5月1日にオープンし、地域の福祉活動に貢献できるようがんばっております。

加えて、今年から協同活動第11次3ヵ年運動「JA福光ゆめプランパ - ト」の初年度として、営農部門では「担い手づくりを軸とした地域農業振興と安全・安心な農産物づくり」、生活部門では「安心して暮らせる豊かな地域社会へ貢献できるJAづくり」、経営部門では「新たな事業方式による活力あるJAづくり」を柱に、安心して暮らせる地域社会づくりをめざします。

以上により、間違いのないJA福光、そして地元商工業の振興、地域社会の発展により一層貢献できるよう役職員一同邁進する所存であります。

福光農業協同組合
代表理事組合長 村上 勝則

・地域貢献に関する取り組み

1. 全般に関する事項

当組合は、南砺市(旧福光町)を事業区域として、農業者を中心として商工業一体の地域住民が組合員となって、相互扶助(お互いに助け合って発展していくこと)を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当組合の資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当組合では資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当組合は、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助けあいを通じた社会貢献に努めています。

なお、組合員資格別の員数および出資金額の内訳は次のとおりです。

	員数(人)	出資金額(百万円)
正組合員	3,672	948
准組合員	1,778	68
合 計	5,450	1,016

2. 地域からの資金調達の状況

(1) 貯金・定期積金残高

組合員をはじめ地域の皆さまからお預りした貯金の残高は、61,247 百万円(うち定期積金の残高は 1,950 百万円)となっております。

なお、資格別の貯金・定期積金の残高の内訳は次のとおりです。

(単位:百万円)

組 合 員 等	52,096
そ の 他	9,151
合 計	61,247

(2) 貯金商品

目的・期間・金額にあわせてご利用いただける各種貯金を取り扱っております。

種 類	し く み と 特 色	期 間	お預入額
総 合 口 座	普通貯金・定期積金・定期貯金が一冊の通帳にセットできます。この口座は給与・年金などの自動受け取り、公共料金・税金・家賃などの自動支払いに便利です。さらに、キャッシュカードをご利用になると全国どのJAでも現金の引き出し、預け入れができます。また、全国の都銀・地銀・信金・信組・ゆうちょ銀行などのキャッシュサービスがご利用いただけます。そして、必要なときには、セットされた定期貯金と定期積金の残高合計の90%以内、最高300万円まで自動融資が受けられます。	定めなし	1円以上
普 通 貯 金	出し入れ自由。年金・給与などの自動受け取りや公共料金・クレジットカードなどの自動支払いができます。	定めなし	1円以上
貯 蓄 貯 金	使い道などが決まらないお金を預けて、増やしながらいつでも使える貯金。利率は普通貯金より有利です。	定めなし	1円以上
当 座 貯 金	小切手・手形によりお支払いができますので、ご商売をなさる方に便利です。	定めなし	1円以上
通 知 貯 金	ごく短期間の運用に便利です。	定めなし (据置7日以上)	5万円以上
納税準備貯金	貯金者の皆さまの租税納付にお使い下さい。	定めなし	1円以上
スーパ-定期貯金	お預け期間は1ヵ月以上の決められた期間、預入れ時の利率が満期日まで変わらない確定利回り。総合口座にセットすれば、自動融資が受けられます。	1ヵ月以上 5年以内	1円以上
大口定期貯金	大口資金の運用に便利で安全確実な商品です。	1ヵ月以上 5年以内	1,000万円 以上
期 日 指 定 定 期 貯 金	お預け期間が最長3年間、据置期間1年経過後、自由に満期を指定できます。1年複利のお得な貯金です。	最長3年	1万円以上
変 動 金 利 型 定 期 貯 金	金利情勢に応じて途中で金利が変動します。マネ・プランの幅が広がります。	3年	100円以上
定 期 積 金	目標額に合わせて、毎月の預け入れ指定日に積み立てる貯金です。積立期間は自由に選べますから、プランにそって無理なく目標達成できます。	6ヵ月以上 5年以下	100円以上
一般財形貯金	積立額、目的ともご自由。お預入れ後、3年経過すればいつでもお引出しできます。	3年以上	1,000円以上
財形住宅貯金	住宅取得を目的とした積立で非課税が適用されるたいへん有利な貯金です。	5年以上	1,000円以上
財形年金貯金	在職中に積立を行い、60歳以降に年金としてお受取りできます。(3ヵ月毎のお受取)退職後も非課税が適用される大変有利な貯金です。	5年以上	1,000円以上

3. 地域への資金供給の状況

(1) 貸出金残高

組合員をはじめ地域の皆さまへの貸出金の残高は、6,002 百万円となっております。

JAは地域金融機関として、地域社会の発展と豊かな暮らしの実現に貢献することを使命と考え、農業資金、事業資金や個人向けのご融資に積極的に対応してまいりました。

資格別の貸出金残高の内訳は次のとおりです。

(単位:百万円)

組 合 員 等	4,211
地 方 公 共 団 体 等	790
そ の 他	1,001
合 計	6,002

(2) 制度融資取扱状況

農業制度資金とは、農業経営に必要な資金を(長期かつ)低利で利用できる融資制度です。

農業制度資金には大きく分けて、国や地方公共団体がJA等民間金融機関の資金を原資とする貸付けに利子補給等を行うもの(農業近代化資金等)、国や地方公共団体の財政資金を原資とするもの(農業改良資金等)、財政融資資金等を原資とするもの(農林漁業金融公庫等)の3タイプがあり、その目的・用途に応じて次の表のとおりとなります。

なお、資金別融資残高の内訳は次のとおりです。

(単位:百万円)

農業近代化資金	99
農業改良資金	
農業経営基盤強化資金(ス-パ- L)	92
経営体育成強化資金	
農業経営負担軽減支援資金	
農業経営維持安定資金	
農業経営改善促進資金(ス-パ- S)	2
中産間地域活性化資金	
合 計	193

(3) 貸出金商品

農業者の皆さまには、JA 独自の営農資金をご用意しております。

その他にも事業資金、住宅ローン、教育ローン、マイカーローンなど、組合員をはじめ地域の皆さまの事業や暮らしに必要な資金をご融資しております。

なお、制度資金は次ページをご覧ください。

商品分類	ご融資金額 (限度額)	ご融資期間	
		返済期間	据置期間
マイカーローン	500万円	6ヶ月～7年	
教育ローン	500万円	13年6ヶ月	在学期間
クローバローン	300万円	6ヶ月～5年	
カードローン	50万円	1年	
住宅ローン	5,000万円	3年～35年	
リフォームローン	500万円	1年～10年6ヶ月	

4. 文化的・社会的貢献に関する事項(地域とのつながり)

(1) 文化的・社会的貢献に関する事項

地域で採れた食材の学校給食への供給

春はアスパラガスを、秋には甘藷等を管内の小学校に食材として提供しています。

ミセスカレッジ

女性部員を対象に生活文化の向上を図る目的で、様々な文化教室・視察・実習を行っています。

キッズクラブ

小学生を中心に年間を通じて、水稻、野菜等の植付、管理、収穫を行い自然とのふれあいを深めています。

ひだまりの会

福祉施設での奉仕活動や各地区毎に「そくさい会(ミニ宅老所)」の開催等、高齢者へのボランティア活動を行っています。

スポーツ大会の開催

年1回組合員及びその家族を対象として、ペタンク、ゲートボール、ゴルフ大会を開催し、心身の健康づくりに貢献しています。

(2) 利用者ネットワーク化への取り組みとして、次の会を組織して活動を深めています。

年金友の会

共済友の会

旅行友の会

(3) 情報提供活動

農協だより「ファースト」の発行

月刊広報誌「ファースト」は、農政や農業技術及び地域であった出来事等の情報を組合員の皆様にお知らせしています。加えて、組合員からの意見などを掲載させて頂いております。

ホームページでの情報伝達・PR

ホームページアドレス <http://www.ja-fukumitsu.or.jp>

電子メールアドレス jafuku3@ja-fukumitsu.or.jp

(4) 店舗体制

福光中央会館の1階(旧吉江支所跡)を改修し平成19年5月1日より、従来11の支所(店)でおこなってきました金融業務を金融本店として、共済業務を共済本店としてスタートしております。

新店舗での営業におきましては店舗窓口での相談機能を強化し、お客様のご相談(ニーズ)に丁寧かつ素早い対応とコンプライアンスに心がけております。特に共済業務では窓口でオンライン端末が設置されたことにより従来の支所(店)では不可能だったリアルタイムでの契約内容照会等が可能になりました。

また新体制において、金融渉外課の新設と従来の共済普及課の増員という渉外活動の強化体制をとり、金融渉外担当者、共済 LA(ライフ・アドバイザー)による「出向く姿勢」での顧客満足度向上にも努めてまいります。

また、従来の支所(店)は「地区センター」となり、お客様にとって一番身近な「窓口」としての機能を果たしてまいります。

. 財務状況や事業に関する開示

1. 金融再生法開示債権区分額(単体)

(単位:百万円)

区分	平成 19 年度上半期末 (平成 19 年 8 月末)	平成 18 年度末 (平成 19 年 2 月末)	増減
破産更生債権および これらに準ずる債権	88	101	-13
危険債権	85	79	6
要管理債権	3	3	0
小計	176	183	-7
正常債権	5,858	5,531	327
合計	6,034	5,714	320

2. 単体自己資本比率(国内基準適用)

平成 19 年度上半期末 (平成 19 年 8 月末)	平成 18 年度末 (平成 19 年 2 月末)
17.22%	17.47%

注記例 平成 19 年度上半期末の自己資本比率は、平成 18 年度末の自己資本の額を基準として今年度末の業績予測を加味した自己資本を、また、リスク・アセットは平成 19 年度末の計画値に基づき算出しています。

3. 預貸等状況(貯金、貸出金、預け金、有価証券の残高)

(単位:百万円)

	平成 19 年度上半期末 (平成 19 年 8 月末)	平成 18 年度末 (平成 19 年 2 月末)	平成 18 年度上半期末 (平成 18 年 2 月末)
貯金	61,247	62,566	62,608
貸出金	6,002	5,689	6,116
預け金	50,611	51,555	51,354
有価証券	4,212	4,271	5,128

4. 有価証券等時価情報

【有価証券】

(単位:百万円)

種類	平成 19 年度上半期末 (平成 19 年 8 月末)			平成 18 年度末 (平成 19 年 2 月末)		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
満期保有目的	1,810	1,832	22	1,565	1,595	30
その他	2,373	2,402	29	2,682	2,706	24
合計	4,183	4,234	51	4,247	4,301	54

注記例

- 1 平成 19 年度上半期末の有価証券の時価は、当該時点における市場価格等に基づく時価としています。
- 2 取得価額は償却原価法適用前、減損処理前のものであります。

【金銭の信託】

(単位:百万円)

種類	平成 19 年度上半期末 (平成 19 年 8 月末)			平成 18 年度末 (平成 19 年 2 月末)		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
満期保有目的	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-

注記例

- 1 平成 19 年度上半期末の有価証券の時価は、当該時点における市場価格等に基づく時価としています。
- 2 取得価額は償却原価法適用前、減損処理前のものであります。

以上